

資料5

低炭素モビリティWG 報告資料

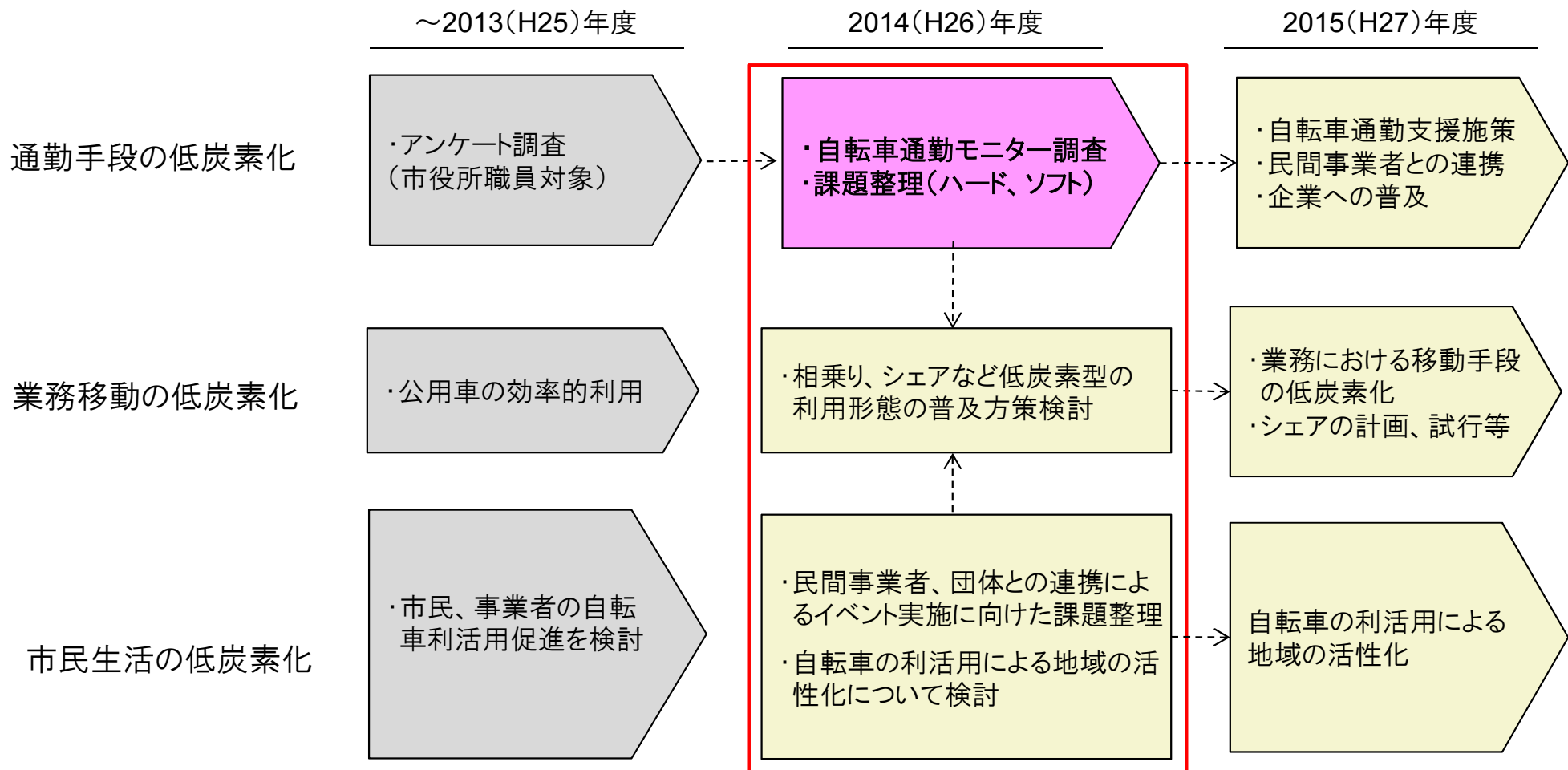
第12回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成26年9月29日(月)

1. 平成26年度 本年度活動方針

- 秋田市全体の移動の低炭素化のため、「通勤手段の低炭素化」を目指す。
- そのため、まず秋田市職員の通勤の低炭素化(=自転車通勤の普及)の実現可能性を調査。



2. 自転車通勤モニター調査 実施内容

- 2014年7月に2週間実施。
- 毎日の通勤手段、距離・時間、感想等を記入(自転車通勤以外の日も記入)。

実施状況

分類	人数
実施日	2014年7月14日～25日 (平日9日、土日祝3日)
参加人数	27名
天候	雨天2日(いずれも帰宅時)

モニター調査票

1	日付	2014/7/14	2	天気	
3	通勤手段 行き		4	帰り	
5	走行距離		6	平均速度	
7	自転車通勤をしなかった場合その理由(いずれか一つに○)				
7-1	<input type="checkbox"/>	天候			
7-2	<input type="checkbox"/>	体調			
7-3	<input type="checkbox"/>	業務上の都合			
7-4	<input type="checkbox"/>	家庭の都合			
7-5	<input type="checkbox"/>	その他			
7-6	補足説明のある方は、ご記入ください。				
8	気づいた点、感想などを、ご記入ください。				

3. 自転車通勤モニター調査 結果

- **職場環境への要望は、雨に濡れたり、汗をかいた時の対応(更衣室等)が最も多い。**
 - 勤務時間(時差、フレックス)等に関する意見はない。あらかじめ通勤時間を見込んで出勤していると思われる。
- **市内の交通環境、道路状況に関する気づき、自転車通勤を行うことによる「発見」のコメントが多い。**
 - 自転車通勤を促す環境を整備すれば継続的に実施する人が増えるのではないか。

実施結果

項目	数値
平均自転車利用回数	13.2回 (全18回 片道)
平均走行距離	11.28km
平均速度	16.25km/h

主な意見・感想

種別	内容
職場環境への要望	出勤時に雨天になると業務に支障が出る
	汗をかくと着替えが必要
	新庁舎竣工時の駐輪場の確保が心配
交通環境への気づき	交通マナーへの気づき(車道を走る自転車がほとんどいない、スマホを見ながらの自転車運転 等)
	自転車走行しにくい道路への指摘(車道が走りにくい、歩道との段差、見通しの悪い交差点 等)
	自転車走行に関する気づき(車道を走ると後ろからの車が気になる、通学路を注意して走るようになった)
自転車通勤の利点	帰りに寄り道ができる
	気持ちがいよ(周りの風景、沿道の樹木、風が涼しい)
	良い運動になる
	業務利用ができる(共有の自転車利用より簡単)

4. 今後の実施方針

- ・ 市職員に対する自転車通勤促進策については、庁内とも調整しつつ検討する。
- ・ 市民生活の低炭素化に向け、商工会議所等と連携し進めていく。

通勤手段の低炭素化

【課題】

- ・雨天、夏期の着替えスペース
- ・職場の駐輪場

【促進策(案)】

- ・自転車通勤のPR

【今後の対応】

- ・関係部署との調整(管財、人事等)
- ・全庁での取り組みを目指した三役の合意
- ・民間事業者と連携した自転車通勤環境の整備 等

市民生活の低炭素化

【対象】

- ・買い物(日常生活)
- ・娯楽(非日常)

【方策】

- ・中心市街地への駐輪場付ポケットパーク整備
- ・レンタルサイクルの整備

【今後の対応】

- ・関係者(行政、商業、交通等)による協議
- ・ライフスタイルイノベーションWGとの連携 等

参考. 自転車利用の促進による地域活性化の取組

これまで、NPO法人バイシクルエコロジージャパン秋田支部(SarrowAkita)と市が連携し、地球温暖化対策等のために推進してきた「Bike to Work」に、今年度から、新たに自転車の活用による地域活性化を目指す秋田商工会議所が加わり、3団体の連携により、自転車利用促進に取り組みました。（「ナイスライダーパスポート」の導入、環境イベントなどでのPRなど）

ナイスライダーパスポート



- ① 協賛店 33店舗
- ② 枚数 2,000枚

